

コスタリカを知れば希望が湧いてくる！～「コスタリカ」の著者が語る

2024年5月15日 所沢 伊藤千尋

1. 平和を創る国コスタリカとは

- ・貧しい途上国なのに平和、教育、環境、人権大国を実現した
- ・スペイン語で「豊かな海岸」
- ・産業は農業 パナナ、コーヒー、パイナップル

2. 平和の輸出

- ・世界で2番目の平和憲法を自ら制定 12月1日は軍隊廃止記念日
- ・もし攻められたら～国境警備隊、国際機構、国家の武装組織の3段階
- ・なぜ軍隊をなくすことができたのか フィグーレス大統領の決断、立憲主義へ
- ・永世積極的非武装中立宣言～1983年、モンヘ大統領、米国の圧力を跳ね返す
- ・1987年アリアス大統領がノーベル平和賞、国連核兵器禁止条約の提案国

3. なぜ軍隊をなくしたのか～兵士の数だけ教師をつくろう

- ・三つの理由 ①内戦への反省 ②クーデターを防ぐ ③軍事費にカネがかりすぎる
- ・何に金を出せば社会は発展するのか－教育だ、義務教育は13年間で完全無償
- ・教育の目的は「生徒自身が幸せで満たされること」、対話型授業
- ・幼稚園から平和教育、小学生から民主主義教育、国連平和大学の創設

4. 憲法を活かす仕組み

- ・小学生も違憲訴訟する、最初に習うのは「誰もが愛される権利を持つ」
- ・大統領を憲法違反で訴えた大学生、ロベルト・サモラ君
- ・人権の国 難民100万人を受け入れた、「だれも排除しない」

5. 国会

- ・完全比例代表制、再選禁止、57議席のうち女性議員が28人
- ・市民参加課 小学生も法律を作ることができる
- ・国会決議～平和憲法を持つ日本とコスタリカにノーベル平和賞を与えよ
- ・コロナ対策でも世界の模範 弱者への配慮、先進国並みの社会保障制度

6. 環境保護の先進国

- ・生物多様性の模範地域、環境保護の先進国、エコツーリズムの草分け
- ・環境ホテルを建設したカラソ元大統領「環境破壊をもたらすのは無知と欲」
- ・原発ゼロ、自然エネルギーが99.5%、地熱発電

7. なぜこんな国ができたのか

- ・助け合う風土、「私は幸せです」と誰もが言える社会
- ・歴史の分岐点、経済や治安に問題点も
- ・あいさつ言葉は「プーラ・ビーダ(Pura Vida=純粋な人生)」